

全国堆肥センター協議会

平成15年 1月 9日

Eメール通信 第7号

全国堆肥センター協議会

第3回畜産環境国際シンポジウムの開催

・趣 旨

家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律が平成11年に施行され、現在、各地で畜産環境の整備に向けての取組みが進められている。

一方、畜産環境問題は、地球規模での物質循環における畜産の位置づけ、地球温暖化ガスの発生など地球環境の問題として整理しておくべき課題も多い。また、米国、カナダの畜産濃密州における畜産環境の具体的な歩みと成果を紹介することは、わが国の畜産環境問題の解決にとっても有意義と考えられる。このため、畜産環境問題について先行地域である、デンマークや北米の専門家を招聘し、わが国関係者の参加を得て、広く意見を交換し、畜産環境問題の解決に資することとする。

- ・ 日 時 平成15年3月27日(木) 13:00 ~ 17:00
平成15年3月28日(金) 9:00 ~ 12:00
注) 日本畜産学会第101大会と併催になります。
- ・ 場 所 つくば国際会議場「エポカルつくば」
茨城県つくば市竹園2-20-3 TEL 0298-61-0001
- ・ 内 容 (演題と演者) 英・日の同時通訳

第1部 「地球環境と畜産」

「窒素循環と環境」 陽 捷行博士((独)農業環境技術研究所 理事長)

「環境に対する畜産の貢献」 矢野 史子教授(近畿大学)

「持続型農業と畜産環境」 メルビン教授(アイオワ州立大学 アメリカ)

「地球環境負荷ガスと畜産環境」 ロム博士(デンマーク国立農研 デンマーク)

..... 質疑・討論

第2部 「北米における畜産環境対策の歩みと成果」

「アメリカと日本の家畜ふん尿処理技術・開発・研究」

中井 裕教授(東北大学大学院)

「アメリカの畜産濃密地帯における家畜ふん尿処理技術・開発・研究」
フメニク教授（ノースカロライナ州立大学 アメリカ）

「カナダの家畜ふん尿処理技術・開発・研究」
ザン教授（マニトバ大学 カナダ）
..... 質疑・討論

・ 参加者等

対象者：国、都道府県等の行政並びに試験研究機関、畜産団体、農協、農協連、企業職員、畜産農家等

人 員：約 450 名

参加申込み：所定の申込書（PR用パンフレット裏面、機構のホームページ）により 15.1.6 から 2.28 までに F A X で申し込む。

定員になり次第締め切り

参加料：資料代として 1,000 円

- ・ 主 催 ： 財団法人 畜産環境整備機構
- ・ 共 催 ： 日本畜産学会
- ・ 後 援 ： 農林水産省・農畜産業振興事業団・日本中央競馬会・生物系特定産業技術研究推進機構・(社)中央畜産会・(社)畜産技術協会・日本畜産環境学会

この件に関するお問合せは、(財)畜産環境整備機構 普及情報部

TEL 03 - 3459 - 6300

明けましておめでとうございます。

本年も全国堆肥センター協議会をよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様の情報交換、連絡の場として、この「全国堆肥センター協議会 E メール通信」を積極的に活用されるようご案内申し上げます。